

### 3教科B方式 英語

B方式は大問3題が出題されました。2題は論説文で、あと1題は語法・文法問題が出題されています。マークシートで答える問題が多いですが、高得点を取るための勉強の仕方はA方式と変わりません。日ごろから学校の勉強を中心に基礎力をしっかりとつけておきましょう。

#### I.

##### 【解答】

問1. ④

問2. (A) ① (B) ④ (C) ① (D) ③ (E) ② (F) ② (G) ④ (H) ①

問3. (ア) ④ (イ) ③ (ウ) ② (エ) ③

問4. (1) ③ (2) ① (3) ② (4) ②

問5. 1. 前もってプログラムすることができない。

2. 創造性が必要とされる。

3. コミュニケーション技術など社会的知性が必要とされる。

問6. ④

##### 【講評】

人工知能の発達によりジャーナリストがロボットに取って代わられる日が来るのか、という問題を扱った論説文です。マーク式の問1～問4は、本文中の語句と意味が近いものを選ぶ問題や、動詞の適切な形を選ぶ問題ですが、一部を除きまずまずの成績でした。問5は本文中の three characteristics が何を指すかという問題で、その前の段落を読めばあまり難しくないはずですが、preprogrammed の意味がわからない人もいたようです。問6は文章のタイトルを選ぶ問題で、あまり正答率が高くありませんでした。本文の一部ではなく全体の趣旨を表したものが正答になります。

#### II.

##### 【解答】

問1. (1) ④ (2) ① (3) ③ (4) ④ (5) ④

問2. (ア) ⑥、② (イ) ②、⑥ (ウ) ①、⑤

(それぞれ、この順で完答のみ)

問3. (A) ① (B) ② (C) ④ (D) ① (E) ④

問4. (1) ② (2) ② (3) ① (4) ② (5) ② (6) ①

問5. しかし、読み聞かせをされていない6歳から11歳の子どもの40%は、親が声を出して自分に本を読み聞かせることを続けてくれていたらよかったと調査員たちに話した。

##### 【講評】

子どもの読書習慣と親の果たす役割を論じた文章です。マーク式の部分は、空所に前置詞などを補充するもの、単語を並べ替えて正しい文にするもの、単語の英語での定義を完成させるもの、短文が本文の内容に一致するかどうかを判断するものでした。マーク式の設定は全体的にまずまずの正答率でしたが、問5の英文和訳の出来はあまりよくありませんでした。…who are not read to…の部分は“read to (…に読んで聞かせる)”の受身形を含んでいます。…wish their parents had continued…の部分は過去の事実と反する仮定を表して「親に…を続けてほしかったと思っている (実際は続けなかった)」の意味ですが、「…続けてほしい」と現在のことのように書いた人が多いのは残念でした。基本的な文法事項が定着していないと和訳の問題では得点できません。

#### III.

##### 【解答】

A. (1) ① (2) ② (3) ② (4) ③ (5) ③ (6) ④ (7) ② (8) ① (9) ① (10) ④  
(11) ③ (12) ④ (13) ④ (14) ① (15) ③

B. (1) ② (2) ② (3) ④ (4) ② (5) ① (6) ②

C. ① ③ ④ ⑦ (順不同)

##### 【講評】

文法・語法・イディオムなどに関するマーク式の問題で、大部分は基本的なものです。この大問は日ごろからの地道な勉強がものを言うところであり、ほとんど正解できるぐらいにしておいてほしいと思います。